

繋 谷地南部っ子

令和7年度 学校便り
R7. 12. 12
NO 22
校長 秋場 一憲



経営キーワード「言葉（言葉遣い・言語力）」・自立（自ら判断実践・協働的解決・新たな課題追究）」

パルクールを通して、運動能力と思考力向上に

今年度1年間、本校のスポーツアドバイザーを務めてくださったキマイラ代表の荒木優希さん。その荒木さんが強く勧めている競技が「パルクール」です。パルクールとは、フランス郊外の若者たちが生み出した、走る・跳ぶ・登るなどの「移動」をすることで心身の鍛錬を行う運動方法だそうで、昨年度試行的に3年以上の子供たちに指導いただいたところ、子供たちの動きと表情が徐々に真剣になり、それに伴って動きがスムーズになっていくことに感心しました。与えられた環境（配置された器具・用具）の中で、どのコースをどのような動きで楽しむか、子供たちの思考力が試されます。また、自分の運動能力に見合った難易度へのチャレンジも可能です。12月4日（木）と5日（金）の2日間、今年度は全学年の子供たちがたっぷりとパルクールを楽しみました。



3年：2本のパイプを渡る



5年：姿勢を低くして移動



4年：なんと！ブリッジで移動



6年：バランス感覚

職業講話 第1弾：自衛隊員の魅力を知る（5年）



プレゼン資料で熱くお話される工藤所長さん

昨年度、試行的に取り組んだ職業講話。今年度より本格的に実施することにしました。12月5日（金）に第1弾として、5年生を対象に自衛隊山形地方協力本部東根地域事務所 工藤潤也 所長さんと菅野 翔 主任広報官さんより、自衛隊の種類と仕事、仕事をする中で学んだ大切なことなどをお話いただきました。お話の中で子供たちに、①自分の得意なことを自覚すること、②仕事の中で挑戦したり困難を克服したりする場面があること、③仕事をする中で「挨拶」と「努力」が大切であることを学んだこと、そして「仕事は誰かの役に立ち、人を幸せにする。そして、それによって自分も幸せになる。」という熱い、大切なメッセージを伝えてくださいました。

河北町教育委員会訪問がありました

11月28日（金）に町教育委員会訪問がありました。全学年・学級の授業通覧後、学校経営方針と総括、教職員育成の取組みについて、ご指導・ご助言をいただきました。主な内容は、下記のとおりです。

- 学年が上がるにつれ落ち着いた学習態度だった。
- 担任と子供たちの表情が明るく温かみを感じ、担任の自信と健康が子供たちの意欲と楽しさに繋がっていると感じた。
- 読書に力を入れていることはとても良く、中学生や高校生になっても書くことに困らなくなる。
- 教職員の働き方改革も進んでいる。
- 学校研究の視点を最重視し、「深い学び」に繋がっているかを問い直して欲しい。また、授業と家庭学習の効果的接続も大切にしたい。

授業通覧の一場面



児童会の企画・運営力と仲間意識を高めるために・・・

12月9日（火）、インフルエンザ感染拡大のため延期していた児童会「秋祭り」を行いました。縦割り班メンバー内のコミュニケーションを深め仲間意識を高めるために、児童会計画委員会を中心に企画・運営に当たりました。楽しいゲームを通して、本校の目玉活動である縦割り班活動が一層輝きました。



神経衰弱ゲーム



新聞紙で物を運ぶゲーム

第7回校内授業研究会(2年算数)で学んだこと

12月3日（水）、第7回校内授業研究会において2年担任で新採の池田真菜 教諭が、算数「かけ算（2）」の授業を提案しました。食べ残ったチョコレートに見立てた●の個数を、かけ算を用いてどう求めるかを考える内容でした。まずは自分の力で、その後ヒントをもらったり仲間と説明し合ったりしながら答えを求めていきます。また、複数の練習問題に挑戦し「まとまりを作れば、かけ算で求めることができる。」という大切な事項を定着させていきます。終始、子供たちが意欲的に学習を進めていたこと、そして新採とは思えない池田教諭の落ち着いた指導ぶりに感心しました。ご指導いただいたことは、下記のとおりです。



仲間と交流

【村山教育事務所指導主事からのご指導（骨子）】

◎価値づけていただいたこと

- 学習のめあてがシンプルでわかりやすい。
- 仲間と協力して、粘り強く問題を解決している。

◇今後の授業改善で意識して欲しいこと

- 数や式、図と関連させながら、筋道立てて考えたり説明したりすること。
- 練習問題に取り組ませるとき、子供たちにどんな力を定着させたいかを吟味すること。
- 算数らしい言葉を使うことを意識させたり、振り返りに仲間から学んだことを加えたりすること。